

①学会・研修会・講習会等の名称：

中枢神経疾患のリハビリテーションに取り組む セラピストのための基本知識

～脳外科術後患者を中心としたリスク管理、評価手法の実際～

②日 時：2016年6月19日（日）10:00～16:00（受付9:30～）

③内 容：

脳卒中リハビリテーションとくに、急性期においてはリスク回避に関し、ガイドラインが散見され、血圧管理や酸素飽和度、心電図所見などが基準として紹介されている。しかしながら、脳梗塞と脳出血の回復プロセスが異なることや、くも膜下出血の術後や脳腫瘍の術後管理に関しては、脳卒中リハビリテーション全般のガイドラインでは対応しきれない特異性要因が存在する。一例として、急性期脳梗塞は収縮期血圧上限が200mmHg前後であるとされるのに対し、脳出血では血管が脆弱なため2週程度では160mmHg、術直後は150mmHg程度とされ大きく異なる。また、術式やドレナージの処置、損傷部位によっても適宜対応を変えていく必要がある。

ここでは、理学療法・作業療法の処方上、頻度の多い脳外科手術例を紹介し、その対応の仕方をまずは、リスク管理、つぎに評価する上での工夫などを紹介し、現場をよく知る参加者とともに思考の活性化を目指す勉強の場にしていこうと考えている。

④講 師：[高見 彰淑 先生](#)

（弘前大学 大学院保健学研究科 健康支援科学領域 障害保健学分野 准教授・理学療法士）

⑤会 場：今池ガスビル 7階 B会議室

⑥受講費：12,500円（税込）

⑦定 員：70名

⑧申込先：[株式会社 gene ホームページ](#)よりお願い致します。

⑨締 切：定員になり次第締め切り

⑩主 催：株式会社 g e n e（愛知県士会後援依頼申請中）